

令和6年（2024年）8月1日

小学生向け学習まんが『図書館のひみつ』を日販・Gakken と共同制作 全国の小学校・公共図書館・児童館などへ寄贈

株式会社図書館流通センター（代表：谷一文子 東京都文京区 以下：TRC）は株式会社 Gakken（以下：Gakken）の小学生向け学習まんが書籍「学研まんがでよくわかるシリーズ」において、『図書館のひみつ』を日本出版販売株式会社 図書館営業部と Gakken の三社で共同制作しました。7月25日以降に Gakken を通じて、全国の小学校・特別支援学校と公立図書館・児童館に約 25,000 部が寄贈されます。

本書は、「子どもたちに図書館が楽しい場所であることを知って欲しい」という願いのもと制作しました。

『図書館のひみつ』について



都道府県や市区町村といった自治体が設置している公共図書館は、だれでも無料で利用できます。公共図書館で職員が行っている仕事は、どれくらい知られているでしょうか。レファレンスサービスとは？ 図書館で本を探すときに使う「OPAC」で出てくる本のデータを作る仕事とは？ 知っているようで知られていない、公共図書館の仕組みと裏側を紹介します。

内容については下記サイトにて全ページ無償で公開しています。

■学研まんがひみつ文庫

<https://gk-himitsu.gakken.jp/385/537e4d76859e454e8c12971cf452127c>

■学研キッズネット

<https://kids.gakken.co.jp/himitsu/library209/>

※ 本シリーズは非売品のため書店での一般販売はありません

学研まんがでよくわかるシリーズ（通称：ひみつシリーズ）について

「ひみつシリーズ」は、児童学習分野のパイオニアとして、多くの子どもたちへ“学ぶ楽しさ”を伝えるノウハウと実績を積み重ねてきた Gakken が制作しています。2001 年の刊行以来、既に 200 社以上が協賛し、『図書館のひみつ』は 209 作品目になります。小学生の主人公が活躍する等身大の物語を通じて、企業の理念や商品開発のストーリー、社会に貢献する取り組みなどを学ぶことができる子どもたちに人気のシリーズです。

株式会社図書館流通センターについて

図書館総合支援業務として図書館のご相談全般にお応えします。書誌データベース（TRC MARC）の作成と販売、図書館向けの装備付図書等の販売と、全国に約 3,300 館ある公共図書館のうち 596 館（2024 年 7 月現在）で、業務委託と指定管理者等の図書館受託運営業務を行っています。学校図書館の支援業務や、電子図書館事業やデジタルアーカイブ事業をはじめ、軽自動車の移動図書館車 LiBOON（リブーン）など、図書館に関わるさまざまな機器・用品等の販売も行っています。

もくじ



図書館の本はどこから来るの？

TRC MARCができるまで

書籍データ登録するためのデータベースをMARCといいます。
ここでは、TRC MARCのどのようなしくりにしてつづられているかの概要をあらわします。

【1】 編纂
タイトル 著者 出版社
ISBN
図表

【2】 収録編目
写真の撮影を依頼します。カメラを通して画像を、写真機に写すように撮影します。

【3】 編纂
書籍のデータベースを外部します。これで、市川に収録されたものを、利用したいところによって呼び出さうとする「検索」もできるようになります。

【4】 所蔵・請求
本の品名を登録もつづります。図書館とたぐくみの所蔵品がふくまれている場合は、所蔵品と書籍番号も入力します。

【5】 分類・件名
本をどの分類に分類し、どの本に利用対象とするのか、どの本に件名を付けるのか、ジャンルを決定します。

【6】 内容紹介
本の内容と天幕で紹介します。書籍情報には、子ども向けの図解や簡単な記事を添えることも、のびのびとした内容の紹介もできます。

【7】 編纂
天幕でページ番号、シリーズなどの本の情報を登録もつづります。天幕などの追加情報があれば、追加情報も入力します。

【8】 校定
作成したデータにまちがいがなければ、最終的なチェック。約19冊にわたるチェックを行い、まちがいをなくしてから、TRC MARCの運用です。

※「国語」「図解情報」の運用により、この図解情報の運用は、国語の運用と連携して行われます。

[illegible]